



佐土原ロータリークラブ週報



2004-2005 年度 R I テーマ

会 長：林 厚 雄
副 会 長：岩 切 正 司
幹 事：藤 堂 孝 一

会 計：柳 田 光 寛
会 報 委 員 長：宮 原 建 樹

第 868 回 平成 17 年 1 月 26 日 (水)

本日のプログラム

1. 点 鐘
2. 食 事 の 時 間
3. ロータリーソング
「我らの生業」
4. 四つのテストの唱和
5. 会 長 の 時 間
6. 幹 事 報 告
7. 委 員 会 報 告
8. フォーラム
「ロータリー理解月間」
9. 点 鐘

第 867 回の記録 平成 17 年 1 月 19 日 (水)

☆会長の時間 会 長 林 厚 雄 君

今日はロータリーの歴史第 6 回目をお話し致します。

ポール・ハリスが初めて役職についたのは、第 3 代目の会長でした。会長就任の際の抱負として

- 1) シカゴのクラブを一層発展させること。
 - 2) この運動を他の都市にも広げること。
 - 3) 総合扶助の目的に、社会奉仕の活動を加えること。
- しかし、ポールは任期半ばで健康を害したとして辞任しています。

1909 年になると、米国内に続々とクラブが誕生するようになりました。しかし、類似クラブも発生したのですが、1912 年には双方話し合いの結果シカゴクラブが吸収したそうです。また、北米のオークランドのクラブが生まれた時、このクラブでは週 1 回例会を開くことを決めました。

1911 年にはヨーロッパにクラブが誕生するようになり、1919 年にフィリピン、インドにも誕生し、その頃世界中のクラブが 500 クラブになりました。

日本では、1921 年 4 月 1 日、(大正 9 年、世界で 855 番目に国際ロータリーは東京ロータリークラブの創立を承認しました。そして日本で 2 番目

のクラブが翌年の 1922 年に大阪で誕生しています。また、この年に開催された国際大会 (ロサンゼルス) で毎週 1 回の例会を開くことが決定され、マーク・アップの規定も制定されました。1924 年に神戸・名古屋、1925 年に京都、1927 年に横浜クラブが誕生し、この横浜クラブでは一切英語で例会を進行したそうです。1923 年 (大正 12 年) の関東大震災では、国際ロータリーより、見舞電報と見舞金 25,000 ドル (約 260 万円)、外国の 503 R・C より見舞金 89,000 ドル (約 930 万円) 贈ってきました。1824 年に米山梅吉が国際ロータリー理事に就任すると同時に日本のスペシャル・コミッショナー (現在のガバナーと同じ) に就任しました。1915 年には各クラブとロータリー連合会を直結するために、各クラブを適当に分けて、ロータリーの地区を定め、新たにガバナーを設けて直接書くクラブを監督するようになりました。

1932 年にシカゴ R・C のハーバート・テイラーが四つのテストを発表しました。それは人々が、社会における正しい道、人間として正しい言行をなす上で己をチェックする基準を定めたもので、人のため世のために奉仕することによって得られる心身の喜びを教えるものであります。

- 1) 真実かどうか
- 2) みんなに公平か
- 3) 好意と友情を深めるか
- 4) みんなのためになるかどうか

ポールは 1912 年、ジーン・トムソンと結婚しました。彼女はスコットランドのエジンバラ出身で、1909 年に家族と共にシカゴに移住してきました。ジーンの人柄は、魅力的ですばらしい女性で大変慈悲深い人であったようです。それに感激性の強い人で、自分のことは忘れても、不幸な人を見ると献身的に助けてあげる人であったそうです。

ポール夫妻は外国をよく訪問しています。日本にも 1935 年 2 月 9 日にハワイを訪問した後に来日しています。

例会場：石 崎 浜 荘 0985-73-1913 事務局：〒880-0303 宮崎郡佐土原町東上那珂 10255 齊藤美喜代
例会日：毎週水曜日 12:30 ~ 13:30 TEL: 0985-30-5766 FAX: 0985-30-5788

ノロウイルスについて

山藤 忍

ノロウイルスの解説にはついては、中武会長年度会報12月号(2003・12・24)に掲載致しましたが、再度申し上げます。重複する記載も多いと思いますがご了承願います。

食品衛生法の改正(2002年8月29日施行)に伴い、小型球形ウイルス(Small Round Structured Virus-SRSV)はノロウイルス(Norovirus)という名称に変わりました。

1972年、アメリカ合衆国オハイオ州のノーウォーク(Norwalk)と言う都市の小学校での胃腸炎流行をきっかけに、ウイルスの存在が明らかになったため、ノーウォークウイルス(Norwalk virus)と呼ばれるようになりました。冬季の発生が多く下痢嘔吐症が目立ち、当時、その胃腸炎の原因ウイルスの一つとしてノーウォークウイルスは考えられました。その後も、アメリカ合衆国では胃腸炎の発生が多数見られ、ノーウォークウイルスに類似したウイルスが、各地で発見され、それらを一緒にしてノーウォーク様ウイルス(Norwalk like virus)として呼ばれていましたが、ウイルスの正式な呼称として相応しくないという意見もあり、2002年よりノロウイルス(Norovirus)という新しい呼称で呼ばれるようになりました。

ノロウイルスは、冬期を中心に、一年中流行して、胃腸炎を起こします。つまり嘔吐・下痢症であります。このウイルスは、比較的抵抗力が強く、60℃10分程度の加熱では病原性を失わず、塩素系殺菌剤や消毒用アルコールに対しても抵抗性であります。

感染経路は、生カキなど二枚貝の関与が強く指摘されていますが、学校や保育園で生カキを食べていないのに集団発生する事があり、原因として、人から人への感染も考えられています。

ノロウイルスの直径は30ナノメートル(nm)=(100万分の1mm)前後で、ウイルスの中では、ポリオウイルスや日本脳炎ウイルス同様小型の球形ウイルスに入ります。

これまでの調査で原因食品は、水やノロウイルスに汚染された食品、特にカキを含む二枚貝が多く報告されています。ノロウイルスは貝の中では増殖できません。二枚貝の生息域が汚染されると、ノロウイルスを体内に蓄積してしまうと考えられています。また、感染者の便や吐しゃ物に接触したり、飛散したりすることにより、二次感染を起こすことがあります。最近ではむしろ、人から人への感染が多くなっているのではないかと考えられます。然し、人から人への感染では、接触感染も否定できませんが、多くは食品が関係しています。患者によって汚染された食品や、人の手などで感染している様であります。

症状は、潜伏期は24~48時間で、下痢、吐き気、嘔吐、腹痛、発熱(38℃以下)が主症状です。通常3日以内に回復しますので、安静にしていると大部分はそのままで治ります。感染しても全員が発症するのではなく、無症状、もしくはかぜ症状だけで済む人もいます。

しかし、抵抗力が落ちている人、老人や乳幼児では、少数のウイルスでも発症します。一般に乳幼児では吐き気が強く、大人では下痢症状を示すことが多いようです。

予防には、カキなどの二枚貝は中心部まで十分に加熱して食べることです。湯通し程度の加熱ではウイルスは死にません。食品、特に生鮮食品(野菜、果物など)は十分に洗浄することです。トイレの後調理する際、食事の前には、よく手を洗ってください。また、手洗いの後、使用するタオル等は清潔なものを使用します。患者が出たら各々が使い捨てできる紙タオルを使用した方がいいでしょう。患者の便や吐物には直接触れないことです。接触した場合は十分な洗浄と消毒を行うことです。消毒薬は塩素系漂白剤や次亜塩素酸ソーダが良いですが、水道水で石けんを使った十分な洗浄で結構です。症状が強い時には、特に乳幼児や老人では脱水症状を起こし易いので、早目に医療機関を受診して下さい。

2005年1月26日